

## 北陸電力の志賀原発、東京電力の柏崎刈羽原発は廃炉に 規制委員会は、志賀原発、柏崎刈羽原発の再稼働を認めるな！

今年の正月の能登大地震の発生は、世界の地震の三分の一近くが発生する地震列島といわれる日本には、原発を安全に稼働できる場所はないことを明らかにした。中でも「地震の巣」と言われる日本海東縁部は1964年の新潟地震(M7.5)、1983年の日本海中部地震(M7.7)、1993年の北海道南西沖地震(M7.8)、2007年の中越沖地震(M6.8)、そして今回の能登半島地震(M7.6)と続いている。そこに泊原発、柏崎刈羽原発、志賀原発が存在し、美浜原発、大飯原発、高浜原発は稼働している。

### 稼働中なら事故になった志賀原発は廃炉に

北陸電力は今回の能登地震での志賀原発の被害を小規模に見せようとしているが、国会議員の現場確認を拒否するなどの隠蔽を行っている。変圧器の配管が破断、受電装置等の破損の状況も原因も隠され、敷地内にも大きな隆起が発生。

規制委は「敷地内に活断層はない」判断を撤回し、原子炉建屋直下にある活断層の可能性を再認して再稼働認可を撤回すべきである。地元では避難経路の地震による寸断などから、町長は「安全対策の強化や審査の長期化を考えると再稼働の道筋が見えてこない」と慎重姿勢を表明した。

### 東電柏崎刈羽原発は稼働せずに廃炉へ

柏崎刈羽原発は2007年の中越沖地震で緊急停止し、変圧器の火災、放射性物質の建屋外への漏出などが起り、柏崎市は「緊急使用停止」を命令した。福島事故炉と同型の原発であり、泉田新潟県知事は、東電の福島原発事故原因を究明しない姿勢を批判し、再稼働を容認しなかった。ところが、規制委は17年末に再稼働の基準に適合すると判断した。しかし21年には、テロ対策の不備を指摘し運転準備禁止したが、23年12月に解除した。福島事故の原因究明も、被害者への対応もできない東電には原発を稼働する資格はない。

## さよなら原発 2024 関西アクション 原発やめて！核燃サイクル中止

福島原発事故から13年

多くの被災者は、苦難の人生を強いられ、360人を超える子供や若者たちが、甲状腺がんで苦しんでいる。しかし政府は、国民の命と健康を蹂躪し、原子力回帰政策を強行。巨大地震や噴火に襲われて、冷却不能になれば日本は破滅。力を合わせて反対の声をつよめ、この愚かで危険な政策を一刻も早く終わらせよう！

▼3月10日(日)14時～：中之島公園女性像前



- ★ 脱原発トークライブ  
おしどりマコ・ケン
  - ★ アピール  
菅野みずえ 関西訴訟
  - ★ アピール  
松下照幸 美浜町議
  - ★ うた 増田俊道
  - ★ メッセージ  
浅石紘爾 核燃阻止
- 主催：さよなら原発実行委  
■集会後梅田までデモ

**3月17日(日)** トリチウム

**汚染水を海に流すな！  
関西集会**

講演者：海渡雄一さん  
（元環境省放射能対策課長、元原子力規制庁長官）

2024年3月17日(日)  
13:30開演～14:00～15:00  
会場：ドーンセンター5F・増穂電スタナオ  
(地下鉄・東淀川線) 宗右衛門  
参加費 800円(学生・障がい者優待)

主催：汚染水を海に流すな！関西ネットワーク

3月17日(日)13:30～  
ドーンセンター5階

## 汚染水を海に流すな！関西集会

東電は昨年8月24日からタンク10基分の7800トン、以後10月5日、11月2日に、そして今年の2月末に4回目の排出を行なう。まだ排出量も期間も短く直接の汚染の影響は顕在化していないが、放射能汚染物による海洋汚染は着実に増加している。水俣病の有機水銀による汚染も排出開始後15年後から影響が出ている。1日でも早く、汚染水の排出を中止することが必要である。

雑誌「AERA」によると福島の漁業関係者は「放出には納得していない、海洋放出は止めて欲しい」と語る。  
**福島地裁に海洋放出差止を提訴**  
昨年9月に福島県内外の住民と漁民が海洋放出差止を求めて提訴、11月には追加提訴で原告は350人となっている。訴状には「原発事故と海洋放出という二重の加害による権利侵害は絶対に容認できないとの怒りを持って提訴する」と書かれている。



## 3/31 老朽原発ただちに廃炉!美浜全国集会に参加しよう!

関電は若狭で、高浜、大飯、美浜の6台の原発を稼働させている。それに対して、大阪地裁で「美浜3号運転禁止却下に対する即時抗告」、福井地裁で「美浜3号運転差止仮処分」、福井地裁での「高浜1～4号運転差止仮処分」が審理中で、仮処分判決は3月中に出る予定です。集会で報告の予定。

日時:3月31日(日)12:00 開場  
場所:はあとホール(美浜町保健福祉)  
特別報告:井戸謙一弁護士  
「老朽原発運転差止仮処分」  
集会後にデモ行進を行います  
主催:老朽原発うごかすな!実行委

### 【投稿】原発から命と生活を守った田野原村

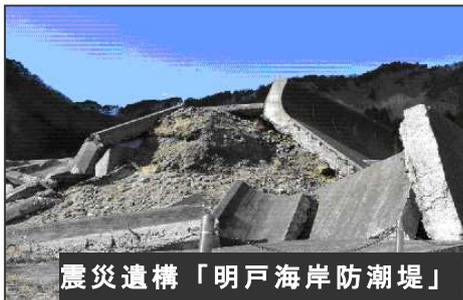
13年目の3.11が間近である。太平洋岸の東北4県(青森、岩手、宮城、福島)のうち、岩手県だけが原発建設を免れている。岩手県でも原発の計画が3カ所(田老、本渡、田野原)もあった。しかし、住民の運動が原発を阻止した(注)。もし一カ所でも出来ていたら、3.11では福島第一原発と合わせて、甚大な被害が起きたに違いない。(注)平林 祐子『原発お断り』地点と反原発運動

大原社会社会問題研究所 No.661/2013.11 p36~51

<https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/images/oz/contents/661-03.pdf>

#### 震災遺稿 田野原村の「明戸海岸防潮堤」

岩手県の3カ所の一つに田野原(たのはら)村がある。三陸海岸の宮古市の北約40キロ、田野原村明戸海岸には現在3.11震災遺構「明戸海岸防潮堤」(写真)が遺されている。高さ9mの防潮堤は津波によって破壊され、私たちに津波の恐ろしさを伝えてくれる。明戸には高さ22.5mの津波が押し寄せた。福島第一原発では13.1mであった。この明戸こそ原発の候補地であった。



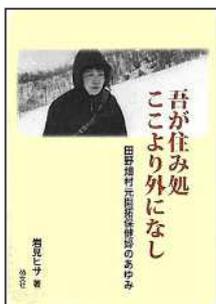
震災遺構「明戸海岸防潮堤」

#### 開拓保健婦 岩見ヒサさん

田野原村で村民の命と生活を守り、原発から村を守った中心に岩見ヒサさん(1917~2015年)がおられた。岩見さんは開拓保健婦として、戦後の開拓地の農民、特に「乳幼児と妊婦」の保健活動に尽力されてきた。遠い地区は片道18キロ、開拓農家を一軒一軒を歩いて回り、その活動にはただただ感動するばかりである。

岩見ヒサ 著

『我が住み処(しよ)ここより外(ほか)になし 田野原村元開拓保健婦の歩み』萌文社  
2010年5月 現在8刷  
新刊で購入可 1,100円  
(税込み)



#### 岩見さんの「原発反対奮戦記」

この本のp118~127に「原発反対奮戦記」が載っている。1981年 県議会で田野原村 明戸地区の原発計画が明らかになった。岩見さんは本を取り寄せ「むさぼり読んだ」。本は『原子力発電とは何か

その分かりやすい説明』(広瀬 隆 著・野草社)。

とりあえず50冊を注文し、村の婦人会をはじめ、村会議員、村長など多くの人に配り、危険性を訴えた。岩見さんが会長の婦人会の会員を中心に一軒一軒、一人一人に原発阻止を働きかけられた。岩見さんの熱心な活動は共感を呼び、多くの村民が原発反対運動に参加するに至った。原発候補地の明戸地区では住民全員が原発建設に反対する署名を提出した。村民の運動は村長、村議会を、さらに県政をも動かした。

#### 豊かな食料基地としての村づくり・美しい自然

戦後に入植した人々は、重機の一台もない中で大木の根を掘りだし、ようやく農地を作り上げてきた。その努力で生活が安定しつつあり、都市への食糧基地としての村づくりを目指す動きがすすめられているのに、これを破壊することを岩見さんは許せなかった。開拓保健婦として人々の命と生活を守ってきたことから当然のことであった。岩見さんの主張に多くの村民が耳を傾けた。岩見さんに寄せる絶大な信頼の大きさが根底にあることが伝わってくる。

岩手日報に掲載された投書には岩見さんの考えが記されている。「豊かな食料基地としての村づくりが進められている」「私たちは子々孫々にこの美しい田野畑の自然を残すために、団結して原発反対に奔走するだろう」。

ここにも多くの人々の命と生活を守った人がいた。  
(田村和男)

※本稿は メールマガジン「たんぼぼ舎です【TMM:No4971】2024/02/05」掲載の上岡 直見さん(環境経済研究所代表)「珠洲原発を止めた住民の方々以外にも全国に感謝を伝えたい」の記事をもとに書いた。

たんぼぼ舎・上岡さんに感謝。

# イスラエルの死の商人エルビット・システムと日本企業の契約を破棄へ

パレスチナの多くの市民団体が、イスラエルによるアパルトヘイトとジェノサイドに反対し、それに加担する企業に対するBDS（ボイコット、投資の引揚げ、制裁）を呼びかけている。日本では伊藤忠関連の「伊藤忠アビエーション」と日本エアークラフトサプライがイスラエルの死の商人といわれる武器開発・製造の「エルビット・システム」と契約したことに抗議してその破棄を要求して闘った。

1月26日に国際司法裁判所(ICJ)が、南アフリカ政府の訴えを受け、ジェノサイドを防ぐ手段を尽くすこと、必要な緊急支援を可能とする措置を行う事をイスラエル政府に命じる暫定措置命令を出した。

市民のボイコット運動と、ICJの暫定措置命令によって伊藤忠商事はエルビットとの契約を2月中に破棄することを決定した。2月9日に日本エアークラフトサプライに対してエルビットとの協力覚書の破棄を要求して、東京本社、名古屋支社、大阪支社に向けて全国行動が行われた。その結果、日本エアークラフトサプライはエルビットとの協力覚書は2月中をメドに終了すると発表した。これはICJの暫定措置命令の成果であり、市民の運動の成果である。



大阪支社前での要望行動

## 2/10 自衛隊基地建設進む馬毛島 種子島からの訴え

沖縄の宮古島、石垣島などの南西諸島での自衛隊の増強とミサイル基地が大きな問題となっているが、鹿児島県種子島の西方の馬毛島でも、米軍空母艦載機離着陸訓練場(FCLP)、自衛隊の訓練と後方支援拠点として巨大な基地が建設されている。馬毛島は40年前までは人々も暮らす自然豊かな島であり、周囲は豊かな漁場でもあった。また「マゲシカ」の生息でも有名。

2012年に馬毛島が米軍のFCLP候補地とされた。2017年の西之表市長選挙では八板市長が「馬毛島に軍事施設絶対反対」を掲げ当選、2021年にも再選された。ところが2022年には馬毛島内の市有地を売却し市道を廃止。2023年には米軍再編交付金を受け取り、財源として予算化した。

市議会は議席が賛否同数なのに反対派が議長になってしまい、以降の採決では基地賛成派が多数となっている。地元では米軍基地への反対は強いが、自衛隊反対には消極的な状況である。現在、「市有地売却等の違法性と不当性」を鹿児島地裁に提訴している。是非、全国から支援して欲しい。



満席の会場で主催挨拶



和田かおりさん講演

## 2/11「平和と人権を考える」集い 「戦争体験者ではない私が伝えたいこと」

池田・豊中・箕面・豊能郡の教職組の主催する「平和と人権を考える」集いが開かれた。今回は琉球大学大学院で学びながら、沖縄での平和学習ガイドをされている太田光さんの講演が行われた。太田さんは「沖縄戦における男子学徒隊」をテーマとして研究されている。昨年1月には沖縄の「元全学徒の会」が「沖縄を再び戦場にするな」の声明を発表し、わだつみ会はそれを支持した。今回の講演はまさに運動の中心である沖縄県立一中での鉄血勤皇隊のリアルな姿を話された。

講演の中で太田さんは「戦争を説明するには数字も必要ではあるが、一人ひとりの人間の生と死を話すようにしている」と言われた。学徒であった山田義那さんと付き合いの中で、14才での徴兵と戦争体験、多くの友人の死を見送らなければならなかった山田さんの苦しさを「引き継ぎ、その苦しみを伝えていくことを決意した」と話された。



太田光さん講演

## 2/11 建国記念の日反対！ 戦争NO！ 「日の君」強制反対大阪ネット

2月11日の「建国記念の日反対！戦争NO！」集会は、大阪市立中央会館に220名の参加で開催された。寺本「大阪ネットワーク」共同代表が、建国記念の日に反



西谷文和さん講演

対し、教育の軍事化と統制に反対することを訴えた。続いて西谷文和さんの講演「ウクライナ、ガザ、そして万博・カジノを語る」が行われた。最近のウクライナ訪問の画像とインタビュー、アフガニスタンでの中村哲さんの活動が報告された。大阪維新＝橋下・松井・吉村の暴挙。大阪万博のでたらめさと、カジノ計画を縦横無尽に批判。自民、維新を打倒するには「選挙に行かねば変わらない」と主張された。

続いて関西生コンからのアピール、闘争報告が行われた。東京、名古屋からアピール。そして教科書大阪、「慰安婦」関西ネットなどからの連帯アピールが行われた。集会後に会場からナンバまでデモ。

### 外国人労働者200万人超え増加 (朝日 1/27)

昨年10月時点で外国人労働者数が、前年比12.4%増え約205万人となった。人手不足を背景に「特定技能」が約6万人、「技能実習」が7万人増えた。国別では、全体の4分の1を占めるベトナム、中国、フィリピン。最近ではインドネシア、ミャンマーも急増している。低賃金と過酷な労働環境、転職などが問題である。

### 大嘗祭訴訟 原告の請求を棄却 (朝日 2/1)

天皇の代替わりに伴う「即位の礼」や「大嘗祭」などに公費を支出したのは、政教分離を定めた憲法に違反し、信教の自由などを侵害されたとして、全国317人がクニに損害賠償を求めた訴訟に、東京地裁は不当にも請求を却下する判決を言い渡した。

### 福島第一原発で汚染水5.5トンを漏れ (長周 2/9)

汚染水の海洋放出中の福島で、なんの処理もされていない高濃度の汚染水が5.5トンも流出した。閉じるべき「水素放出弁」を閉め忘れ、そこから洗浄中の汚染水が1時間近く漏洩した。福島では先日も放出システムで事故があるなど東電のずさんさが問題である。

### 再処理工場27回目の完成延期へ (朝日 2/9)

岸田政権は原発の再稼働を強調しているが、再稼働すると使用済核燃料が出来る。それを処理する「再処理工場」は1997年完成の予定であったが、26回もの延期を繰り返し、今年の6月に完成予定であった。すでに1万9千トンもの使用済燃料が残されている。しかし今回も27回目の延期とされる予定である。もう「核燃料サイクル」は破綻している。

### 上がらない賃金、アジアでも見劣り (朝日 2/16)

この30年間で、米国の実質賃金は2.8倍、英国は2.7倍、日本は1.1倍。実質賃金でも米・英は5割増なのに日本は上昇していない。アジア諸国と比較しても賃金水準は低く、最低賃金も韓国以下である。

### 案内 2/23 原発いらナイト in 宝塚 131回

毎月恒例の「原発いらナイト」です。サキソホンの生演奏を背景に脱原発のチラシを配布します。  
日時:2月23日 17:00~18:00 場所:宝塚連絡橋

### 案内 2/23 第7回オンライン講座「ヒロポンと特攻」

「第7回わだつみ会オンライン講座」は相可さんの講演「ヒロポンと特攻」です。ぜひご参加ください  
申込先: [gorillaono@gmail.com](mailto:gorillaono@gmail.com) (小野)  
お名前と住所を急いで連絡ください!!!  
日時:2月23日 13:30~16:00  
申込者には「後日配信」も可能です。

### 案内 2/24 第2回 府民主催 夢洲IR/カジノ公聴会



万博を口実にカジノのためにインフラを整備するという魂胆がはつきりしてきた。ばくち場つくりのために予算の投入は許されません。  
日時:2月24日(土)12:00~15:00  
場所:茨木市オークシアター(茨木福祉文化会館5階)  
主催:夢洲カジノを止める大阪府民の会

### 案内 3/2「異文化理解から多様性を考える」



日時:3月2日(土)14:00~16:00  
要申込:0797-76-5917 事務局  
場所:宝塚市立国際・文化センター  
宝塚南口駅前サンビオラ1番館  
報告者:佐々木基文さん  
朝鮮初級学校との交流、宗教者・市民平和会議、宝塚保養キャンプなどの「草の根の国際交流」報告

## 元統一教会に逆らえない岸田首相と文科相、官房長官



岸田首相は自民党本部で歓談



盛山文科相は推薦状を



林官房長官も推薦状を

2023年10月に文科省は東京地裁に「統一教会の解散命令」を請求した。安倍元首相が殺され、自民党と元統一教会の癒着が明らかになって1年以上経過した。元統一教会と自民党の関係は表向きは別として実質的には切れていない。12月には岸田首相が元統一教会の関係団体と自民党本部で面談(2019)したと、今年2月には盛山文科相、林官房長官が元統一教会から2021年選挙で「推薦状」をもらっていたことが写真付きで報道された。

これは岸田政権の統一教会政策に対する元統一教会からの恫喝である。

元統一教会の教義では、日本には韓国併合と支配の責任があり、その清算として日本人は韓国に貢献すべきだとして犠牲と金銭が要求される。1980年代から現在まで「靈感商法」で約3.2万人が1200億円以上の被害を被っている。

元統一教会が主導し、日本の右翼=笹川良一や岸信介等が協力した「勝共運動」は自民党と密着し選挙協力を行ってきた。各大学には「原理研究会」=今は「CARP」が

組織され、学生に対する反共宣伝と活動を行っている。

民主主義の拡大と、精神の自由な発展でなく、家父長制の維持と支配への隷属を基調とする封建的社会を目指す自民党政権にとっては、日本会議と元統一教会は一体である。

昨年の大串デジタル副大臣の時は解任したが、今回は「記憶にない」「わからない」「現在は関係がない」等と発言し、元統一教会を批判したり癒着関係を説明することを拒否している。